

# 市政を問う 一般質問

## 一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をたずねることです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、23人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (政和) = 政和会
- (公明) = 市議会公明党
- (フォ) = フォーラム小平
- (共産) = 日本共産党小平市議団
- (緑ネ) = 緑・ネット

## 行政一般

### 市行政と国会議員、都議会議員とのかわりについて

宮崎昭夫議員(政和) ①情報交換を行っているか。②都施行の都市計画道路等の整備推進を働きかけているか。③国の職員を市に出向させ、山積している課題に対応する考えはあるか。

市長 ①今後も一律にはないが、必要があれば情報交換の場を持つことも考えたい。②小平市選出の都議会議員に要書を提出している。③現在、その考えはないが、研究はしていきたい。

### 郵政民営化に伴う市への影響について

藤原哲重議員(フォ) ①市が発送する郵便物の料金に変化は。②個人情報を守られているか。③経費削減と郵便事業に対する市の考え方は。

市長 ①民営化後も変化はない。②日本郵政株式会社で基本方針を定め、適切に保護していると聞いている。③郵便物を集中発送し割引料金の適用を受ける等で経費削減を図っている。今後、他の事業者がこれらの事業に付加価値をつけることも予想されるため、信頼性や効率性の向上も考慮し幅広い選択肢を持ち対応したい。

### 裁判員制度が始まる前に自治体として準備すべきことは

常松大介議員(フォ) ①市民への広報や啓発活動は。

②職員が裁判員やその候補者に選ばれた場合の休暇等の取り扱い。③職員が裁判員に選ばれた場合、業務に支障を来さないか。

市長 ①市報や国のパンフレット等で広報している。国から啓発の依頼があれば協力したい。②国や都の対応に合わせたいが、明らかに合っていないので今後も動向を注視したい。③支障が生じないよう対応したい。

### 市政運営にかかわる若干の問題について

宮寺賢一議員(政和) ①国民健康保険税の引き上げにより所得の高い層では大増税となるが、再考する考えは。②なぜ市独自に少人数学級が実施できないのか。③在日外国人無年金高齢者・障害者への福祉給付金を予算化した市長の説明を求めたい。

市長 ①経過措置を検討する。②教員の任命権や財政負担などの課題が多い。③法改正でも対象とされなかった一定以下の所得の人を対象に、福祉の向上を目的として提案するものである。

### 再び・市域を越えて行政を進めたい

宮寺賢一議員(政和) ①サービス水準は各自自治体の財政力に応じた水準でいいと考えるか。②市域を越えた行政サービスの課題を解決する手だては。③サービスの同質化が自治体

の再編につながる可能性は。市長 ①財政力やサービス提供の体制等の条件により制約を受けて決められると考える。②負担と給付の関係や財政力の状況を公平に反映させるような合意が必要と考える。③認識しているが、再編には課題が多く現実的には難しい。

### またまた公募市民に丸投げですか

宮寺賢一議員(政和) ①新年度予算案に、全員公募市民による(仮称)小平市のスポーツ振興を考える市民委員会を設置とあるが、なぜ市長の責任で関係者や職員の知恵を結集し振興を考えないのか。②ここでいう市民とは。

市長 ①市民委員会等での検討に当たっては、庁内で検討した資料を提示し、必要に応じて関係者の意見を聞いている。さらに、市民委員会等の検討結果を踏まえて成案を得ている。②市内在住で課題に関心のある成人を応募要件としている。

### 地域発で食の安全に取り組み

岩本博子議員(緑ネ) ①食の安全に対する啓発の現状と今後の取り組みは。②地産地消の推進策は。③学校現場における今後の取り組みは。

市長 ①国や都のパンフレット等で情報提供等をしている。今後も関係部署と連携し取り組み。②学童農園や農業体験農園等の支援により、市内産農産物のPRと購入促進をしている。③3月末までに食育を

より充実させる食育リーダーを全校で指名する予定である。さらにめざそう小平市ICT活用で便利情報化

### さらにもめざそう小平市ICT活用で便利情報化

永田政弘議員(政和) ①携帯電話のメール活用で考えられる市民サービスは。②小平市歌をホームページで提供しては。③小・中学校での携帯電話のフィルタリング等の使用に関する説明状況は。

市長 ①市のお知らせやイベント情報等をメールマガジンで配信するなどが可能と考える。②ICTとは

## 防災・安全

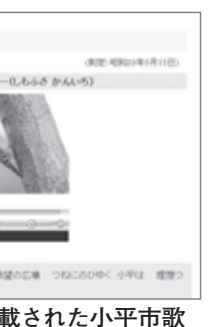
### 火災警報器設置の現状について

滝口幸一議員(フォ) ①一般住宅の設置状況は。②優先して設置すべき対象は。③設置を進めるための施策は。④他自治体に先んじた対策で、安全な町小平をPRしては。

市長 ①都内で24.3%である。②火災による死者の6割近くを占める高齢者世帯と考える。③市報や市民まつりなどのイベントで広報している。④自主防災組織に対する補助事業のうち、住宅用火災警報器も補助金の交付対象であること

### 地域の防災力を向上させる防災教育を進めよう

立花隆一議員(公明) ①防災教育の現状と成果は。②防災教育授業に必要な講師等の人材確保は。



ホームページに掲載された小平市歌

②できる形で実現したい。教育長 ③平成19年度は6年生の保護者会や中学入学説明会等で行うよう学校に指導している。※ICTとは 情報通信技術のこと。

③避難誘導標識の老朽化等への対応は。教育長 ①避難訓練や一斉下校訓練等を実施しており、危機回避能力等が向上している。②地域コーディネーターが講師を紹介して授業を企画し、ボランティアが授業にかかわった。市長 ③統一的に表記したわかりやすい標識に改める等、計画的な改善、整備をしたい。

### 災害協定について

滝口幸一議員(フォ) ①災害協定の内容と現状は。②水道、電気、ガス等に関する協定に不備はないか。

市長 ①自治体との相互応援協定が5件、他に災害医療やライブラリーの応急復旧など多岐にわたり28件締結している。②水道は上下水道工事店会等と水道管が損壊した場合の応急復旧について協定を締結してい

る。電気、ガスは東京電力、東京ガスが指定公共機関のため、市と調整しながら各社の防災業務計画に基づき早期復旧することになっている。

### 災害時の断水の備え、井戸の整備や所在地等の周知について

石毛航太郎議員(フォ) ①防災マップに示されている震災対策用井戸についての考えは。②震災対策用井戸の数は。③水質検査の内容は。④小・中学校にある飲料貯水槽の貯水量は。

市長 ①震災時の飲料水や生活用水として、多くの市民が利用

## 産業振興

### 元気の出る観光スポットで愉快地楽しく

津本裕子議員(公明) ①市内施設見学会の現状は。②平櫛田中彫刻美術館やふるさと村等の観光スポットを拡大し、集客向上を目指しては。

市長 ③市内の工場と協力し、小平版の見学ツアーを開催しては。教育長 ①10月にこだいら文化財めぐりを実施しており、毎年20人程度の参加者がある。

### 平櫛田中彫刻美術館



できる貴重な水源と考える。②2月末現在80か所ある。③都指定の10項目に加え、2種類の有機溶剤について年1回実施している。④全校おむね20トである。▲災害対策用飲料貯水槽



市長 ②小平グリーンロードマップを作成したほか、観光案内標識を設置して市内の観光スポットを紹介した。③小平商工会や事業者との情報交換等や研究をしていく。

### せいぶ通りの活性化は協働で考えるべき

津本裕子議員(公明) ①商店街の活性化と交通安全対策を一体化して道路を整備しては。②地元の商店街や住民と(仮称)せいぶ通り活性化協議会を立ち上げてはどうか。

市長 ①必要なことと考える。②商店街が住民とともに町の活性化を進めていくという動きを後押ししていきたい。教育長 ③職場体験活動の実施などを一層充実させたい。